

2025年5月14日

三菱UFJ信託銀行株式会社

英国ケンブリッジ大学との提携について

三菱UFJ信託銀行株式会社（取締役社長 ^{くぼた ひろし} 窪田 博、以下 三菱UFJ信託銀行）は、MUFGアセットマネジメント（以下 MUFG AM）*のサステナブル投資を推進する活動の一環として、英国ケンブリッジ大学の研究機関であるサステナビリティ・リーダーシップ研究所（以下 本研究所）と提携いたしましたので、お知らせ致します。

本研究所は、特に生物多様性・自然資本に関する研究・分析において卓越した実績があり、当社のような機関投資家をはじめとした金融機関と協働し、経済成長および企業のサステナビリティ課題の解決に向けて調査研究を実施しています。

また、多くの海外のアセットマネジメント会社がメンバーとして参加していることから、英国や欧州を中心としたサステナブル投資の先進的な取り組みに加え、グローバルな視点での時流やトレンドを把握するうえでも有益な機会となると考えております。

MUFG AMは、2023年4月より「MUFG AM サステナブルインベストメント」としてグループ横断でサステナブル投資を推進しています。本研究所との提携を通じて、サステナビリティ分野における最先端の専門的知見を得て実践的に活用するとともに、受託者責任の下、持続可能な成長と企業価値の向上、さらにはサステナブルな未来の実現に向けて、お客様および社会への貢献を一層強化してまいります。

■ケンブリッジ大学サステナビリティ・リーダーシップ研究所（CISL）

本研究所は、1988年に英国ケンブリッジ大学内に設立された研究機関であり、企業のサステナビリティを支援するための調査研究を目的として活動しています。同研究所は、気候変動や生物多様性（ネイチャー）など、サステナビリティにおいて重要なテーマに焦点を当て、グローバルネットワークを活用しながら、企業、金融機関、政策当局など多様に連携して取り組みを進めています。サステナビリティが企業活動の基盤としてますます重要視される中、学術的知見を活用し、持続可能な未来の実現に向けた取組みを促進しています。

* MUFGアセットマネジメントは、三菱UFJフィナンシャル・グループのアセットマネジメント会社である三菱UFJ信託銀行株式会社、三菱UFJアセットマネジメント株式会社、三菱UFJ不動産投資顧問株式会社、Mitsubishi UFJ Asset Management(UK)Ltd.、三菱UFJオルタナティブインベストメント株式会社から形成されるブランド名です。



以上